

# 医療データは トータルに・安全に・ 正確に

山梨まんまくらぶ

代表 若尾直子

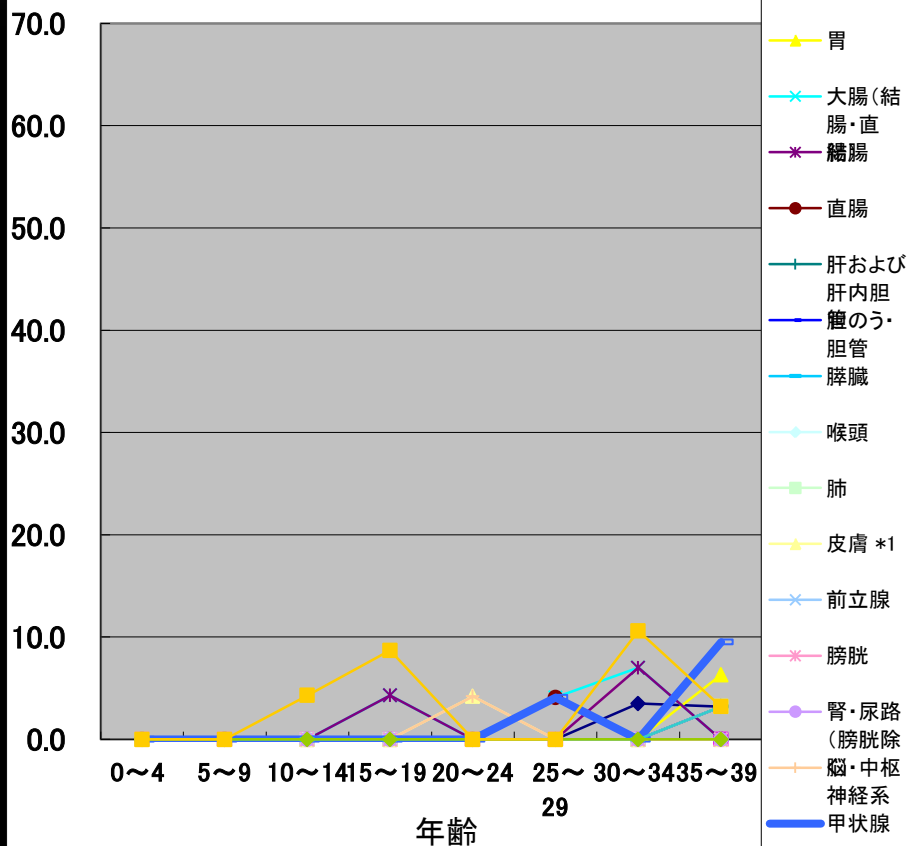
2011年11月21日

医療構想・千葉 どこでもMYカルテ研究会にて

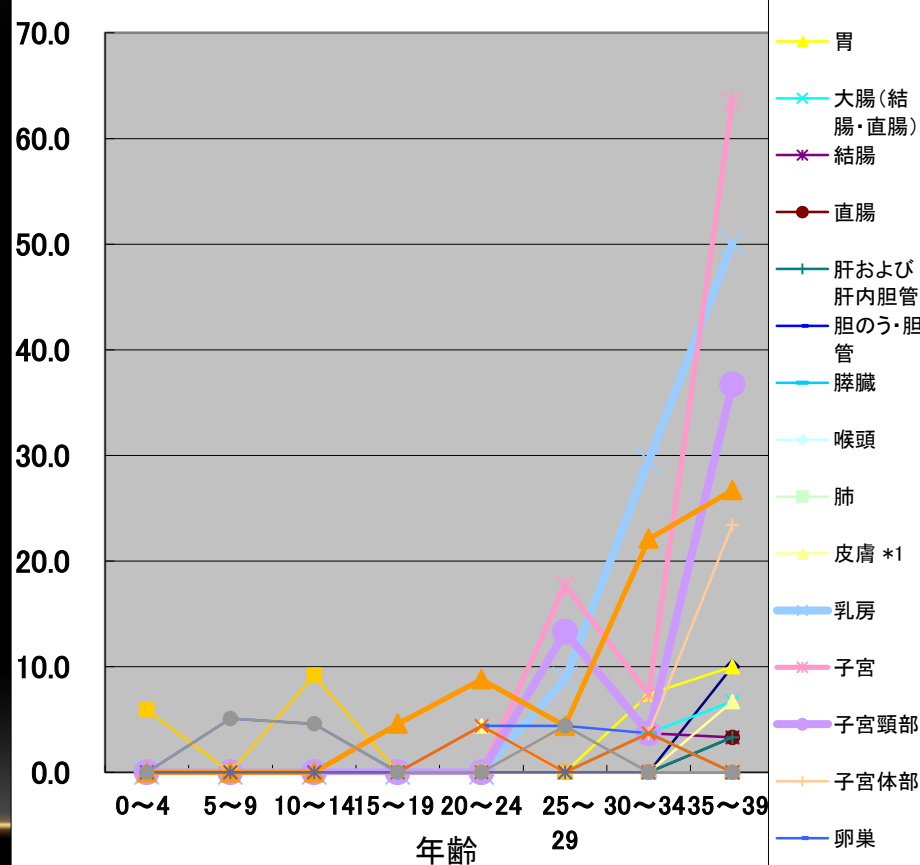
# 外来にシフトしている乳がん治療

山梨県地域がん登録2008より若尾編集

がん罹患率男～35歳(10万対)



がん罹患率女～35歳(10万対)



## ポイントとキーワード

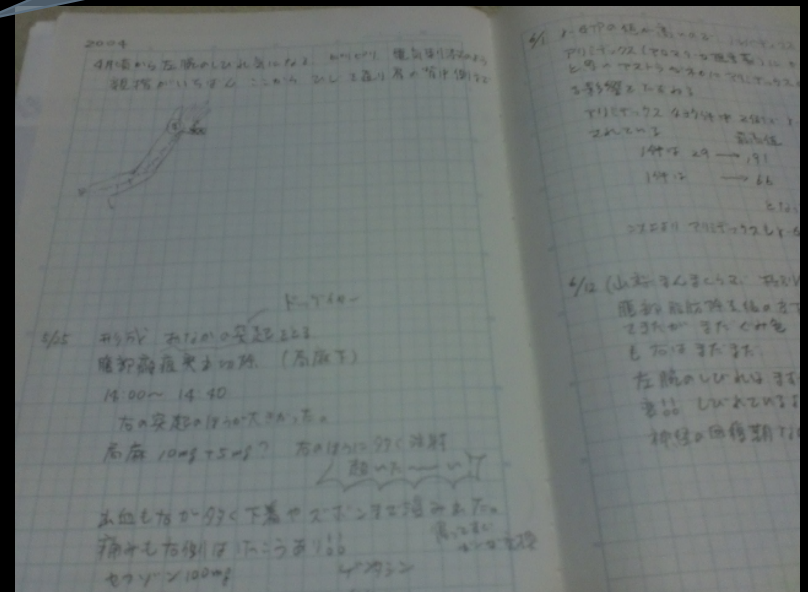
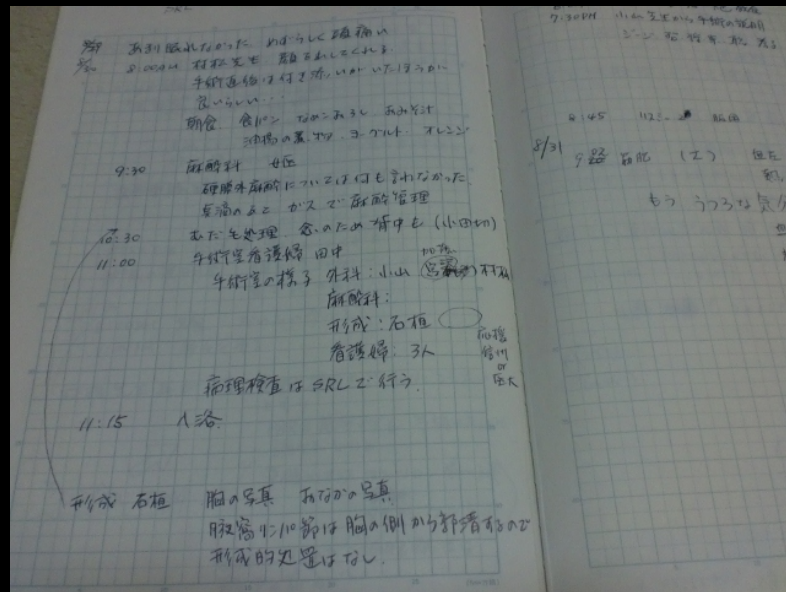
- 多くの女性が、子育て期を含む40代までにがんと向き合う。
- 正確でトータルの医療データが日常で必要
- 女性は、長期にわたって正確でトータルの医療データが必要
- がん登録と個人情報と住民管理
- コントロールとマネジメント
- 個人情報をマネジメントすることの重要性

## 日常生活の中でのがん治療

- 治療中の口腔ケア
- ゾメタと歯科治療
- 外科以外の早期発見
- 乳がんの成長速度とフォローアップ

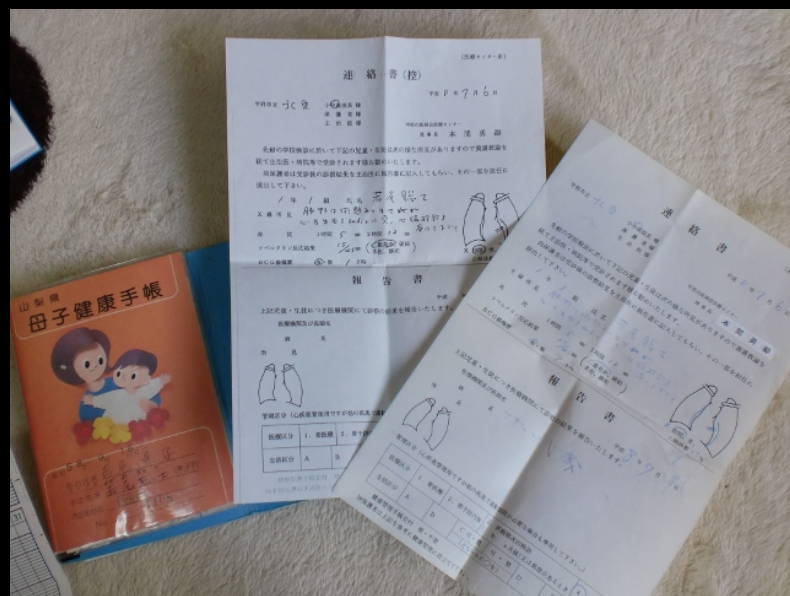
# 私は一生懸命記録した

何が必要なんだろう・・・？  
これであっているのかなあ・・・？



# 私が記録した母子手帳

必要な記録が残せたか・・・？



## 母子手帳はだれのため

- 小児期の病気の記録
- 予防接種の記録
- 紙ベースにおける記入時の状況
- 保存の状況

# 小児がんのフォローアップ

いつ必要になるのか・・・？

## 身体的晩期合併症

- ①成長障害（低身長、やせ）
- ②内分泌障害（成長ホルモン分泌障害、不妊）
- ③神経障害（運動障害、けいれん、知能障害、認知能力・記憶力・集中力の障害など）
- ④心機能障害
- ⑤骨・歯の異常（骨密度の低下、歯の欠損）
- ⑥二次がん（二次性脳腫瘍、二次性白血病）など

特に、放射線治療が必須であるホジキンリンパ腫の晩期合併症は重要な問題で、甲状腺障害、心筋障害、二次がん（健常人の18.5倍発症しやすい）、男性不妊などが特徴があります。

国立がん研究センターがん情報サービス「小児の悪性リンパ腫」より



## セキュリテー

- 複雑なアクセスは使えない
- 医療情報は究極の個人情報
- 人格以上にデータとして使いやすい
- 人生を決定することも
- 保険に利用されたら

# 正確さ

- 医療者から紙ベースでデータが提供されたら
- 医療者のデータが電子媒体で提供されたら
- どの医療機関でも同じ基準でデータ管理をしているか
- 全人的な視点で個別の医療データを俯瞰できるか
- すべての診療科で使えるか
- すべての都道府県で使えるか
- 間違えたデータ入力によるミスを、どうやってフォローするか

※参考 山梨の一部地医療機関で行っている「マイ健康レコード」は、医師が診療時にシステムに入力した検査結果などが、わかりやすいグラフとなって表示され、それを患者自身で見ることができるシステム

# まとめ

- 私の医療データは、わたしも必要
- いつ、どこで必要になっても正確な情報として使いたい
- もし、記録が間違っていたら大変なことになる？ だれの責任？
- 一生涯必要となる健康データは、生まれたときから蓄積したい
- 母子手帳のデータは、大切な個人記録として子供にバトンタッチしたい
- 健康データを正確にするためには必要事項のフォーマットが欲しい
- 日本のどこで医療行為を受けても私のデータは連続した私の記録
- 私には簡単にアクセスでき、他人にはアクセスできない仕組みが欲しい

記録がトータル的に整理され、正確に記録され、私が必要な時に、安全に使える仕組みがあったらいいな・・・。